

平成 21 年 12 月 22 日  
一般社団法人日本介護支援専門員協会 北陸ブロック

## 1. 目的

介護保険が施行されてから 10 年目となり、介護保険は国民に広く認知され、高齢者の生活に定着してきました。そして近年では、医療と介護の連携の重要性が認められ、平成 21 年 4 月の介護報酬改定においては、そのひとつとして、医療と介護の連携の強化・推進を図る観点から、居宅介護支援における入院時や退院・退所時に病院等と利用者に関する情報共有を行う際の評価が導入されました。

介護保険サービスは、医療保険サービスと密接な関係にあり、医療から介護へ、または、介護から医療へ継ぎ目のないサービスが提供されることが利用者にとって安心した暮らしにつながります。そのためには、利用者の医療や介護の情報を医療・介護の双方の関係者が的確に把握し、介護支援専門員はそれを適切にケアプランに反映することが求められ、介護支援専門員の役割は非常に重要といえます。

しかし、介護支援専門員は医療情報の把握や医療機関等との連携にまだ課題があるといわれており、利用者にとって医療と介護の継ぎ目のないサービス提供を実施していくためには、早期のうちにこの解決が望まれています。

また、介護支援専門員の組織は、地域組織・県組織・日本協会という層ごとの役割により、介護支援専門員の業務支援や資質向上、そして地位向上に取り組むべきであり、この研修会において、その三層構造を意識した研修会実施が各地で実現できるように取り組むこととします。

そこで、この研修会では、医療側から求められる医療連携と介護支援専門員の役割についての講義や、地域における医療連携の推進について演習を交えた研修会を実施し、地域において医療連携の質向上や機会増の取り組みが開始され、利用者が住みなれた地域で安心して暮らせることを目的とします。

## 2. 主催

一般社団法人 日本介護支援専門員協会  
富山県介護支援専門員協会  
石川県介護支援専門員協会  
一般社団法人 福井県介護支援専門員協会

## 3. 開催日程、会場、参加者、参加費、プログラム

### (1) 開催日程

平成 22 年 3 月 22 日(月) 10:00 ~ 16:00

### (2) 会場

いきいきプラザ「霞の郷」 多目的ホール  
〒910-0224 福井県坂井市丸岡町八ヶ郷 21-7-1  
TEL: 0776-68-5070

( 3 ) 参加者

参加資格

- A ) 地域組織・県組織における指導者等の役割を担う介護支援専門員
- B ) 地域包括支援センターに勤務する介護支援専門員
- C ) 北陸3県に勤務・在住する介護支援専門員、または関係職員
- D ) その他、北陸ブロック会議が認める者

参加者数

200名程度

( 4 ) 参加費

テキスト・資料代込み

日本介護支援専門員協会会員	3,000円
北陸支部各県会員	3,000円
非会員	5,000円

( 5 ) プログラム

時 間		内 容	講 師
09:00 ~		受付	
10:00 ~ 10:10		開会	
10:15 ~ 11:15	60分	講義 「医療側から求める医療連携」 ～医療連携の実際～	佐藤 伸彦 先生
11:20 ~ 12:20	60分	講義 「医療連携と介護支援専門員の役割」 (ケアマネジメントにおける多職種連携 のための調査研究事業の報告等)	落久保 裕之 先生
12:20 ~ 13:20		休憩(昼食)	
13:30 ~ 14:50	80分	パネルディスカッション <テーマ> 他職種連携の観点から居宅における連携を考える ～ この人 あなたならどうする ～	各職種からの発表 (10分×6名)
15:00 ~ 16:00	60分	コーディネーター：池端幸彦 パネラー：医師、管理栄養士、リハビリ関係、 MSW、ケアマネジャー、訪問看護師	
16:00 ~ 16:10		閉会	